

新潟コンピュータ専門学校

自己評価報告書
(2020年度)

目次（評価項目一覧）

1. 教育理念・目標

- 生徒や保護者に対して教育目標、教育方針の周知を行っているか。

2. 教育活動

- 専門業界、企業などと連携し特色ある教育活動を行っているか
- 全職員と共通認識を持って、協力し合い学生の指導を行っているか
- 学生の家庭と連絡をきめ細かく行っているか
- 保護者に対して、お便りや電話、SNS・ホームページなど、積極的に情報を伝える努力をしているか
- 学校説明会、パンフレットなどの情報提供は適切であるか
- 校内での新型コロナウイルス感染・蔓延防止策は適切に行われているか
- 省庁指定の養成校や職業実践専門課程など運営に関する法的根拠を理解して実践しているか
- 授業に先立ち、動機付けをしっかりと行っているか
- 学生が真剣に授業に取り組めるよう指導を行っているか
- 社会の動き、業界の動向を積極的に知るよう努力・吸収し、それに応じた授業を編成しているか
- 教育目標に応じたカリキュラムやシラバスを作っているか
- カリキュラムやシラバスに沿って創意・工夫された授業を行っているか
- 個々の学生の能力、適性に応じた指導をしているか
- 社会人としてのマナー教育をしているか
- 率先して挨拶を行っているか
- 学生のコミュニケーション能力の育成に向けた教育をしているか
- 学生の自立・自律を促す教育をしているか
- 学生の進路について保護者と情報の共有ができているか
- 学校行事や課外活動などを通し、学生の積極性、協調性、自主性を育てる教育をしているか
- 学生は学校生活を楽しんでいるか

3. 学修成果

- 教職員は、学生の悩み等について適切に相談に応じているか
- 教職員は、学生に進路指導、模擬面接、個別面談など就職に関する支援を適切に行っているか
- 教職員は、学生が進路決定に必要な情報を提供しているか

4. 学生支援

- 学校では専門業界や企業が求める人材を育成するための施設・設備が整っているか。
また、有効に活用されているか
- 教職員は防災に対する意識付けを学生に行い、避難経路・避難場所を熟知し、災害時にスムーズに避難誘導ができるか

評価方法

- 今年度より、Web アンケート形式で実施。
それに伴いアンケート項目と集計方法が変更となった。
よくあてはまる …5
ややあてはまる …4
あまりあてはまらない…3
全く当てはまらない …2
わからない …1

1. 教育理念・目標

(1) 採点

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.2

(2) 現状

- 当校では以下の教育理念、教育目標を掲げ、人材育成を行っている。また、これらの教育理念、教育目標のもと、各学科において学科教育目標が定められている。

【教育理念】

誠 実
明 朗
進 取

【教育目標】

建学の精神

：教育、文化を通して地域社会、国家の発展に寄与する。

スペシャリストの育成

：卒業後すぐに役立つ資格、能力、知識を備えた「スペシャリスト」を育成する。

豊かな人間形成

：社会的常識と基本マナーを備え、明るく健康で建設的な意思を持ったビジネスマン、ビジネスウーマンを育成する。

- 当校の教育の特色として以下の点が挙げられる
 - ・ 専門分野の企業と連携した最新技術教育を実践している。
 - ・ 卒業後の進路選択に備えて専門分野の資格取得に対応するためのカリキュラムを整備している。
 - ・ 豊かな人間性を養うために地域行事への参加や、ボランティア活動などを実施している。
 - ・ 国際的な視野を養うため、海外研修を必修化している。(近年はアメリカ／台湾)
 - ・ 専門分野の第一線で活躍されている講師を招き、学生への特別授業や定期的に職員の勉強会や特別講演会を実施している。最近では AI、セキュリティ、VR、Vtuber、5G に力を入れている。
- 教育理念や教育目標は学生には入学当初に配布する「学生の手引き」に記載し、新入生オリエンテーションにて周知している。
- 保護者には新入生保護者見学会および保護者就職説明会、そして定期的な保護者相談会を実施し、学校活動の周知や学生状況の情報交換を行っている。
(※今年度は新入生保護者見学会は中止とした。)

2. 教育活動

(1) 採点

評価項目	評価
専門業界、企業などと連携し特色ある教育活動を行っているか	4.7
全職員と共通認識を持って、協力し合い学生の指導を行っているか	4.2
学生の家庭と連絡をきめ細かく行っているか	4.2
保護者に対して、お便りや電話、SNS・ホームページなど、積極的に情報を伝える努力をしているか	4.5
学校説明会、パンフレットなどの情報提供は適切であるか	4.5
校内での新型コロナウイルス感染・蔓延防止策は適切に行われているか	4.8
省庁指定の養成校や職業実践専門課程など運営に関する法的根拠を理解して実践しているか	4.6
授業に先立ち、動機付けをしっかりと行っているか	4.6
学生が真剣に授業に取り組めるよう指導を行っているか	4.8
社会の動き、業界の動向を積極的に知るよう努力・吸収し、それに応じた授業を編成しているか	4.3
教育目標に応じたカリキュラムやシラバスを作っているか	4.6
カリキュラムやシラバスに沿って創意・工夫された授業を行っているか	4.1
個々の学生の能力、適性に応じた指導をしているか	4.6
社会人としてのマナー教育をしているか	4.5
率先して挨拶を行っているか	4.9
学生のコミュニケーション能力の育成に向けた教育をしているか	4.8
学生の自立・自律を促す教育をしているか	4.7
学生の進路について保護者と情報の共有ができているか	4.4
学校行事や課外活動などを通し、学生の積極性、協調性、自主性を育てる教育をしているか	4.5
学生は学校生活を楽しんでいるか	4.0

(2) 現状

- 教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、学科長を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。
- 授業評価については前期・後期の各期に1回、年間2回の学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
(※今年度は後期1回のみ実施となった。)
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。

- 資格取得についてはカリキュラムの課程認定を進めることで体系的に位置づけ取得しやすい体制を整備している。また、対策授業を取り入れることで学生の資格取得を支援している。
- 教員の資質向上については、専任講師は法人の資格取得奨励制度の活用による専門分野の資格取得を含め、研修会、学会への参加等を奨励している。また、職員の能力開発については法人全体でマネジメントや広報等、各種研修に取り組んでいる。
- 専門分野の第一線で活躍されている講師を招き、定期的に職員の勉強会を実施し、チームで競わせながら互いの知識・技能の向上に努めている。最近では AI、セキュリティ、VR、Vtuber、5G に力を入れている。
- 毎朝の検温および体調報告の徹底、登校時の検温実施、県外を往来した場合の PCR 検査等、コロナ対策は徹底して実施した。
- 今年度は、グループ校の中でもいち早くオンライン授業を取り入れ、3月の春期国家試験対策から実施した。
- 今年度は、分散登校とオンライン授業を併用運用。
- 今年度実績：WRO japan2020 ARC（自動運転ロボット大会）全国優勝（2連覇）
- 今年度実績：MBSD Cybersecurity Challenges2020（セキュリティ大会）全国準優勝
- 今年度実績：にいがた暮らし IoT アイデアコンテスト 2020 優秀賞（5連覇）
- 今年度実績：情報セキュリティマネジメント試験 秋期合格率 41.7%
- 今年度実績：就職内定 100%、専門就職率 64.2%、県内就職率 51.7%

3. 学生支援

(1) 採点

評価項目	評価
教職員は、学生の悩み等について適切に相談に応じているか	4.6
教職員は、学生に進路指導、模擬面接、個別面談など就職に関する支援を適切に行っているか	4.7
教職員は、学生が進路決定に必要な情報を提供しているか	4.7

(2) 現状

- 進路・就職相談について、担任が窓口となり、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつ個別指導を行っている。また、学科枠を超えた求人に対しても分野の学科長を交えた進路・就職相談を実施している。
- 財団法人日本産業カウンセラー協会による学校訪問対面カウンセリング制度、新潟リハビリテーション病院での院内対面カウンセリング制度を整備し、学生相談に対する体制を整備している。
- 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。
- 課外活動については、一定の基準を満たした団体について、学校公認のクラブ活動と認定し、活動費の補助等の支援を行っている。
- 年2回(6月・12月)に保護者会を開催している。希望者には学科長との個別面談を実施し、保護者との連携を図っている。最近ではオープンキャンパス時に保護者対象の説明会や、入学式前後に保護者対象の校舎見学会も実施している。
- 卒業生に対しては校友会を通じて求人情報等の各種情報を提供している。一昨年度から校友会 Facebook ページを開設した。また、卒業生がスキルアップを図ることができる講座を付帯事業として情報提供している。一昨年度は文科省の委託事業として 3DCG アニメーション講座を実施。
- 今年度も厚生労働省および新潟テクノスクールの委託事業「長期人財育成コース 情報システム科」「短期人財育成コース DS Web クリエーター科1」を受託。長期は5名入校、短期はオンライン授業が認められずに中止となった。
昨年度は長期入校の4名が無事に修了した。

教育環境

(1) 採点

評価項目	評価
学校では専門業界や企業が求める人材を育成するための施設・設備が整っている。また、有効に活用されている。	4.5
教職員は防災に対する意識付けを学生に行い、避難経路・避難場所を熟知し、災害時にスムーズに避難誘導ができる。	4.2

(2) 現状

- 本校では学生の個人 PC 制を導入し、学内外にて作品制作が出来る環境づくりを実践している。このため学内の無線 LAN 環境を整備し適切なネットワーク環境の提供に努めている。
- NSG ホールディングスグループ 100%出資の株式会社新潟人工知能研究所（代表取締役黒田達也）と連携したインターンシップを実施し、実践的なデータ・サイエンスの学びの場を学生に提供できている。
- 昨年度、校舎移転をし、新たな実習室や施設もでき、職員・学生の士気が高まっている。
 System Lab … VUE 試験環境（Microsoft、ORACLE、Cisco、CompTIA、Unity）
 ※Unity は全国専門学校初トレーニングパートナー校
 Network Security Lab … Cisco 教育提携（世界標準のネットワーク知識・技術）
 新潟県警サイバーパトロールボランティア活動
 中学生上級学校訪問時の実習（ゲームプログラミング体験）
 Game Lab … ツインモニターで開発効率向上、デバッグ等の検証
 「短期人財育成コース DS Web クリエーター科 1」でも 3 か月間使用
 VR Lab … VR 専用機器多数導入（Vtuber でも活用）
 Design Lab … 全台 Mac、各種タブレット導入
 esports PV Lab … esports ゲームタイトルをプレビューや評価し合う場
 esports スタジアム … esports タイトルの最大対戦人数（5vs5）に対応し、
 最大 10 人で対戦できる esports 施設
- 今年度、NTT ドコモ新潟支店と新潟市で新潟県初の 5G 実証実験を実施。
- 今年度、(株)バーチャルキャスト、(株)Gugenka による実践的な VR 授業を開始。
- 今年度、NCC オリジナル Vtuber キャラクター「笑主しい」が全国初 Vtuber プロチアリーダーとして B1 リーグ戦でデビュー。

以上